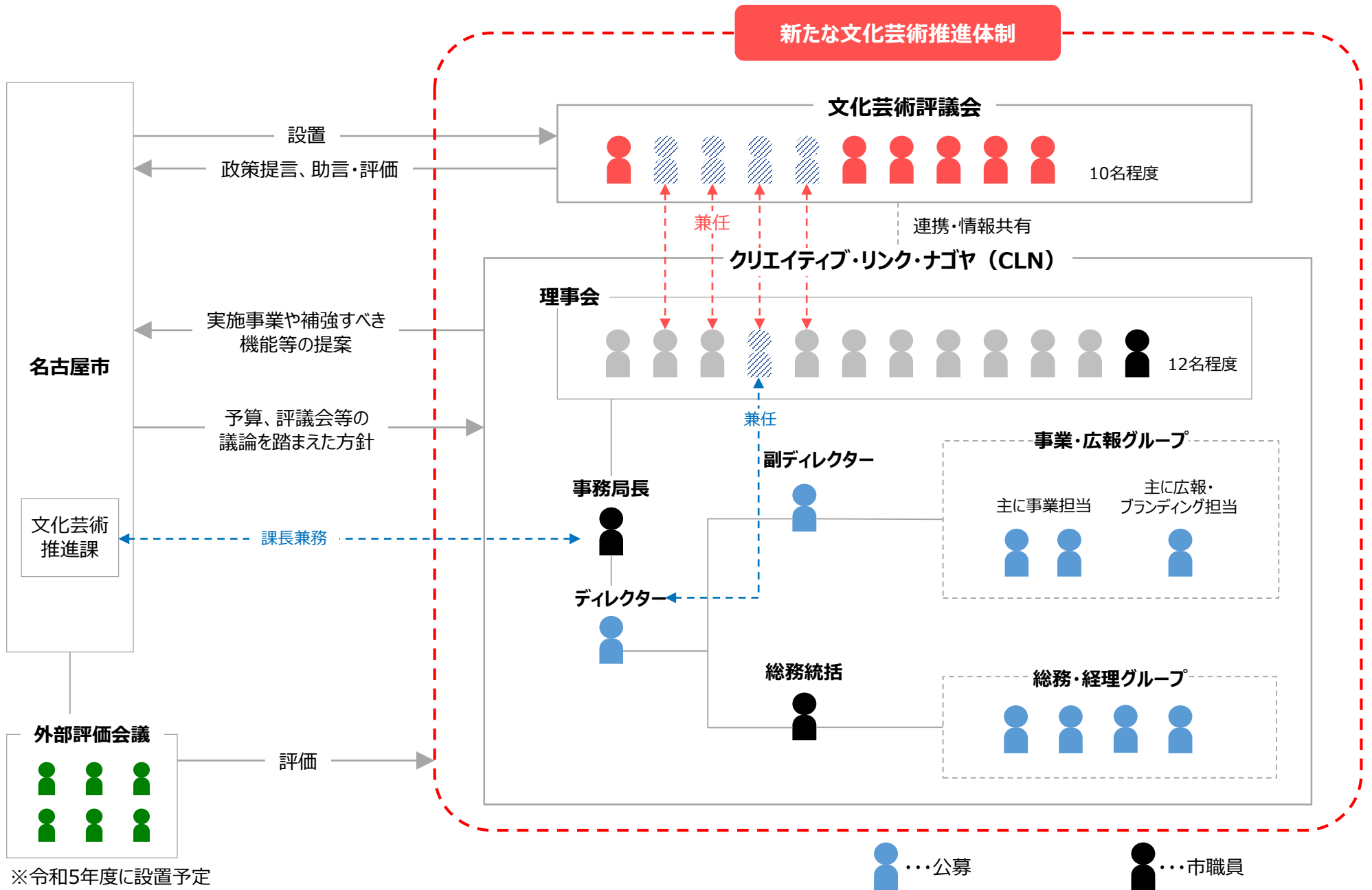


新たな文化芸術推進体制について

1. 令和4年度「新たな文化芸術推進体制」の全体像（予定）



※令和5年度に設置予定

2. 「新たな文化芸術推進体制」の設置目的

新たな文化芸術の価値の創造を通じて、都市の活力・魅力を向上させる

- 専門的かつ長期的な視点による支援・評価・調査研究等の仕組みを構築します。
- 市民・文化芸術団体等の多様な創造活動や名古屋の文化・歴史資源の磨き上げ、文化芸術と他分野の連携・波及効果の創出に向けた取り組みを支援し、新たな文化芸術の価値の創造を促進します。
- 文化芸術を通じて、生活に楽しみや心の豊かさを育み、都市の活力・魅力の向上を図ることで、市民ひとりひとりと豊かな未来をともに創造していきます。

3. 「新たな文化芸術推進体制」のミッション

① 文化政策にかかる市への提言機能の強化

- 文化政策・事業に関して専門性を持つ有識者による「文化芸術評議会」を設置することで、名古屋市の政策や事業に対する提言機能を強化し、時代の変化・名古屋市の課題を踏まえた文化政策を実現する。
- 「文化芸術評議会」の有識者は、文化政策立案や文化事業の運営等の経験がある人々から選定するとともに、別途設置する「クリエイティブ・リンク・ナゴヤ」の活動内容も十分に踏まえ、名古屋の実情に基づいた実現性のある提言を行う。

② 文化芸術と他分野の連携・波及効果の創出

- 「都市の活力・魅力の向上」、「市民や地域が直面する課題解決」等に向け、観光、まちづくり等の他分野の施策において文化芸術を積極的に活用する。
- 他分野との連携・波及効果の創出につながる取組みを行っている団体を支援するとともに、先駆的/実証的な事業を実施する。

③ 文化芸術団体・芸術家への専門的見地からの支援

- 専門的かつ長期的な視点による支援・評価・調査研究等の機能を「クリエイティブ・リンク・ナゴヤ」のなかに整備し、文化芸術活動を行っている市民や、文化芸術団体・芸術家等のニーズを吸い上げ、効果的・効率的な支援のあり方を検討・実施する。
- 支援のあり方の検討においては、「文化芸術評議会」の議論の内容も十分に踏まえるものとする。

4. 「新たな文化芸術推進体制」の主な機能・役割

機能・役割		
政策提言 助言・評価	市の文化政策	✓ 第三者的な視点による助言や事業評価を踏まえた政策提言を実施することで、時代の変化・本市の課題を踏まえた文化政策を実現する
	市が行う事業	
	財団が行う事業	
助成・支援	スキーム設計	✓ 現場のニーズを踏まえた的確な助成プログラムを構築し、芸術家及び文化団体等の自主的な活動を専門的見地から支援することで、名古屋の文化芸術の魅力を向上させる
	広報・助成に係る説明・その他の事務的作業	
	審査若しくは審査にあたっての審査委員への情報提供	
	採択団体の採択後のサポート、不採択団体のサポート	
	採択団体のモニタリング・助成事業の評価	
	事業実施への助言、ニーズの吸い上げ・とりまとめ	
先駆的/実証的事業の 実施	企画・立案	✓ 観光・まちづくり等の他分野と連携した先駆的な事業を企画立案、試行実施することで、他分野との協働を促進させ、文化芸術による新たな価値を創出する
	アーティスト・関係団体・企業等との調整	
	結果の取りまとめ・評価	
調査研究 情報発信	事業実施に係る調査研究	✓ 各事業の効果検証及び政策立案にかかる各種情報を取りまとめるとともに、市の文化政策や各事業に関する情報等を国内外に発信する
	政策立案に必要な調査研究	
	市の文化政策の内容や新体制の活動の周知活動	